

石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八ノ沢及び当別町西当別 風力発電事業に反対する要請書

北海道知事 鈴木直道様

2021年9月9日

要請者 厚田区有志
石狩市厚田区聚富211番地29 福岡幸一
同上 福岡順子
石狩市厚田区望来66番地1 本吉春子
一般社団法人 北海道統合医療協議会 代表理事 西谷雅史
風力発電の真実を知る会 代表 佐々木邦夫
石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 代表 安田秀子
他 要請趣旨賛同署名者 1,126名

私たちの暮らしている地域に(仮称)石狩市厚田区聚富望来風力発電事業(4,000~6,000KW・最大8基)、(仮称)石狩聚富風力発電事業(3,000~6,000KW・最大22基)、(仮称)八ノ沢風力発電事業(3,000KW・7基)、(仮称)石狩郡当別町西当別風力発電事業(4,000KW・最大12基)の巨大風力発電事業が進められています。

私たちの住んでいる地域はススキ、ヨシの原野と農耕地が広がり奥に多くの山林があります。キタキツネ、エゾタヌキ、エゾシカ、エゾリス、シマリス、エゾユキウサギ、多種のネズミなどの動物とニホンマムシ、アオダイショウ、ニホンアマガエル、などが生息しています。また季節ごとにウグイス、アカゲラ、ヤマゲラ、ムクドリ、キジバト、アオバト、ヨタカ、オオジシギ(八の沢でも営巣)、コハクチョウ、オオワシ、オジロワシ、クマタカ、ノスリなど、40種類以上の野鳥が確認されています。さらに、年2回のトンボの大発生など自然環境が豊かな場所です。この環境を守り続け次世代まで残すべきです。

私たちは原発の「安全神話」の崩壊を経験しており再生可能エネルギーが必要ですが、風力発電が全て安全とはなりません。

理由1:大型風車の低周波の健康被害(めまい、頭痛、耳の圧迫感)と騒音障害(睡眠障害)が心配です。陸上も海上も風車だらけにしてよいのですか? この地に安心して住み続けたいのです。

理由2:貴重な財産である生態系のバランスを壊すことは許せません。

理由3:オーストラリアから子育てにやって来る準絶滅危惧種オオジシギ(ラムサール条約)、天然記念物のオオワシ、オジロワシなど野鳥のバードストライク及びコウモリのバットストライクは許すことができません。

理由4:日中に限らず、日の出、月の出、星夜空の景観は市民共有の財産として大型風車で壊さないで下さい。

北海道として是非石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八ノ沢及び当別町西当別風力発電事業に反対し事業者及び関係機関に働きかけてください。